

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月23日(月)	試合番号	C2	回戦	女子1回戦
種別	中学生	会場	浦和駒場体育館		

Aチーム			Bチーム		
大住（京都）			松橋（熊本）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	8	前半	11	17	
	12	後半	6		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評		
<p>大住のスローオフで試合開始。初戦という緊張感からか互いにミスが目立ち、開始から3分経つても0-0で試合が続行。開始4分、松橋の5番の倒れこみながらのサイドシュートで試合が動き出す。その後、大住も2番のポストシュートで反撃。途中、大住には退場者がでるも、センター4番の巧みなパスワークからチャンスを作り出し、ポストシュート、サイドシュートと点数を重ねる。対する松橋は、積極的なDFから相手のミスを誘い、ターンオーバーからの速攻で点を決めていく。1点差の一進一退の攻防が続くが、23分大住に2度目の退場者が出る。数的有利な状況を生かし、松橋の素早い速攻で連続2得点をあげ、松橋2点リードで前半で前半を折り返す。</p> <p>後半開始2分、松橋の11番のミドルで後半先制点。3点差がつくも、すかさず大住もサイドシュートで取り返す。後半7分、大住の15番のサイドシュートからチームが勢いづき、その後連続3得点をあげ、大住逆転。大住の勢い止まらず松橋がタイムアウトを要求した。その後、松橋はセットオフenseでDFの間を果敢に攻めるも、大住の手堅いDFになかなか得点を重ねることができない。後半21分DFラインを上げて攻撃的なDFをしかけるも、スペースを落ちついて攻め、セットオフenseでもポスト、サイド、ミドルシュートとバランスよく点を獲得することができていた大住が20-17が逆転勝利をあげた。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>記載者名</td> <td>松吉 杏佳</td> </tr> </table>	記載者名	松吉 杏佳
記載者名	松吉 杏佳	